

聖 霊

第 10 回 聖霊を象徴するもの

□アウトライン

私たちは聖霊を見ることはできない。そのため、聖書は、私たちに理解できるように、聖霊の現れや働きを、いろいろな物や自然現象にあてはめて説明している。

それらは全部で 9 つある。

1. 鳩	6. 火
2. 風	7. 油
3. 水	8. 証印
4. 息	9. 保証金
5. 着せること	

1. 鳩

マタ 3 : 16~17 イエスはバプテスマを受けて、すぐに水から上がられた。すると見よ、天が開け、神の御霊が鳩のようにご自分の上に降って来られるのをご覧になった。そして、見よ、天から声があり、こう告げた。「これはわたしの愛する子。わたしはこれを喜ぶ。」

- 4 つの福音書がすべて記す（マコ 1 : 10、ルカ 3 : 22、ヨハ 1 : 32）
- 鳩のように・・・聖霊は鳩のような外観を持っているわけではないが、ここでは、イエスのそばにいる人々の目に、鳩のように見えた。その理由は、創世記 1 : 2 の記述に基づき当時のユダヤ人たちが考えていたこと、すなわち【もし聖霊が人の目に見える形で現れるなら、鳥のような姿であろう】に、神が合わせてくださったからである。

創 1 : 2 地は茫漠として何もなく、闇が大水の面の上にあり、神の霊がその水の面を動いていた。

- 動いていた・・・直訳「舞いかけていた」＝母鳥が巣の上に降り立って卵を抱こうと、翼を動かしつつ空中にとどまっている姿勢

- 天から声があり・・・紀元前 440 年頃の預言者マラキを最後に、イスラエルには預言者が現れていなかった。預言者を通しての神の啓示が止まっていたので、当時のユダヤ人たちは、【天から神の声が短く響くことはあり得る】と期待していた。その期待に合わせて、神は天から声を発してくださった。天からの声があったのは、福音書の中で 3 回ある。3 回目のときには、天から声があった理由をイエスは次のように言った。

ヨハ 12:30 イエスは答えられた。「この声が聞こえたのは、わたしのためではなく、あなたがたのためです。」

2. 風

ヘブル語で「風」は、ルアハ。風だけでなく、息、霊という意味もある。

新約聖書はギリシア語で書かれたが、イエスや弟子たちが当時話していたことばは、ヘブル語。

次の箇所はギリシア語でも、「風」と「御霊」は、同じことばの **プニューマ**

ヨハ 3:8 **風**は思いのままに吹きます。その音を聞いても、それがどこから来てどこへ行くのか分かりません。御霊によって生まれた者もみな、それと同じです。

- 御霊によって生まれる・・・聖霊の新生の働きを指す。人が信者になるときの、霊的新生（再生）である。
- 新生は、人の働きではなく、聖霊の働きである。聖霊のみこころのままに、人は救われて信者となる。その働きは、人の目には見えない。

3. 水

「生ける水」＝地下水脈から湧き出る清らかな水。

水は、いのちを保つために不可欠。また、汚れを洗い清めるためにも用いられる。

ここから水は、聖霊の内住の働きや、罪を洗い清める働きを象徴する。

ヨハ 4:10 イエスは答えられた。「もしあなたが神の賜物を知り、また、水を飲ませてくださいとあなたに言っているのがだれなのかを知っていたら、あなたのほうからその人に求めていたでしょう。そして、その人はあなたに生ける水を与えたことでしょう。」

ヨハ7:37～39 さて、祭りの終わりの大いなる日に、イエスは立ち上がり、大きな声で言われた。「だれでも渇いているなら、わたしのもとに来て飲みなさい。わたしを信じる者は、聖書が言っているとおり、その人の心の奥底から、生ける水の川が流れ出るようになります。」

イエスは、ご自分を信じる者が受けることになる御霊について、こう言われたのである。イエスはまだ栄光を受けておられなかったもので、御霊はまだ下っていなかったのである。

Ⅰコリ6:9～11 あなたがたは知らないのですか。正しくない者は神の国を相続できません。思い違いをしてはいけません。淫らな行いをする者、偶像を拝む者、姦淫をする者、男娼となる者、男色をする者、盗む者、貪欲な者、酒におぼれる者、そしる者、奪い取る者はみな、神の国を相続することができません。あなたがたのうちのある人たちは、以前はそのような者でした。しかし、主イエス・キリストの御名と私たちの神の御霊によって、あなたがたは洗われ、聖なる者とされ、義と認められたのです。

4. 息

ヘブル語のルアハは、息、風、霊を意味する。神の息は、神の霊を象徴する。

ヨハ20:22 こう言ってから、彼らに息を吹きかけて言われた。「聖霊を受けなさい。」

- イエスの復活の日、使徒たちが夕食のために集まっていたところにイエスが現れた。トマスだけいなくて、10人の使徒たちにイエスは息を吹きかけた。彼らが聖霊のバプテスマを受けるのは50日後のことであるが、それまでの間、イエスからの教えを理解するためには聖霊の助けが必要であった。

5. 着せること

着せることとは、保護や武装を意味する。さらに、権威を帯びさせて使命を遂行する力となることを意味する。よって、聖霊を着せられるとは、聖霊によって守られることや、聖霊によって力を与えられて使命を遂行することができることを象徴する。

ルカ 24:49 見よ。わたしは、わたしの父が約束されたものをあなたがたに送ります。あなたがたは、いと高き所から力を着せられるまでは、都にとどまっていなさい。」

使徒 1:8 しかし、聖霊があなたがたの上に臨むとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリアの全土、さらに地の果てまで、わたしの証人となります。」

6. 火

使徒 2:2~4 すると天から突然、激しい風が吹いて来たような響きが起こり、彼らが座っていた家全体に響き渡った。また、炎のような舌が分かれて現れ、一人ひとりの上にとどまった。すると皆が聖霊に満たされ、御霊が語らせるままに、他国のいろいろなことばで話し始めた。

- 炎・・・火は、神の臨在、光（照明）、きよめなどを示す象徴である。
- 舌・・・聖霊の賜物の一つである「異言の賜物」を示す。これについては、第 12 回「聖霊の賜物」、13 回「聖霊のバプテスマと異言の賜物」にて扱う予定。
- 分かれて現れ・・・一人ひとりの上にとどまった炎の大きさは大小さまざまであった。同様に、信者一人ひとりが聖霊に満たされる度合いは異なる。それに対して、メシアは無限に満たされる。

ヨハネ 3:34 神が遣わした方は、神のことばを語られる。神が御霊を限りなくお与えになるからである。

- 限りなく・・・無限に満たされるのは、メシアだけである

7. 油

聖書で「油」というと、オリーブの木の実から採取されるオリーブ油である。

イスラエルの地は、オリーブ油のある良い地である（申 8:8）。

オリーブ油は、料理だけでなく、ランプを灯すためにも用いられる。七枝の金の燭台（メノラー）は、幕屋の中では唯一の光源である。燭台の油は聖霊を象徴し、光は聖霊の照明の働きを表す。

また、油は祭司や王に注がれた。油注ぎは、神がその人を特別な使命につかせ、聖霊による守りと力を与えることを象徴する。

Ⅱコリ 1:21~22 私たちをあなたがたと一緒にキリストのうちに堅く保ち、私たちに油を注がれた方は神です。神はまた、私たちに証印を押し、保証として御霊を私たちの心に与えてくださいました。

Ⅰヨハ 2:20 あなたがたには聖なる方からの注ぎの油があるので、みな真理を知っています。

Ⅰヨハ 2:27 しかし、あなたがたのうちには、御子から受けた注ぎの油がとどまっているので、だれかに教えてもらう必要はありません。その注ぎの油が、すべてについてあなたがたに教えてくれます。それは真理であって偽りではありませんから、あなたがたは教えられたとおりに、御子のうちにとどまりなさい。

- すべてについて・・・救いを受けるために必要な福音についての知識のすべて

8. 証印

エペソ 1:11~14 またキリストにあって、私たちは御国を受け継ぐ者となりました。すべてをみこころによる計画のままに行う方の目的にしたがい、あらかじめそのように定められていたのです。それは、前からキリストに望みを置いていた私たちが、神の栄光をほめたたえるためです。

このキリストにあって、あなたがたもまた、真理のことば、あなたがたの救いの福音を聞いてそれを信じたことにより、約束の聖霊によって証印を押されました。

聖霊は私たちが御国を受け継ぐことの保証です。このことは、私たちが贖われて神のものとされ、神の栄光がほめたたえられるためです。

- 前からキリストに望みを置いていた私たち・・・ユダヤ人

エペソ 4:30b あなたがたは、贖いの日のために、聖霊によって証印を押されているのです。

(1) 証印は所有者のしるし

- ① 信者は、神のものとなった。信者は神の権威のもとにある者である
- ② 神の証印を破って、信者を神から奪うことは、誰にもできない

③ 信者は神の権威のもとにあると同時に、メシアの権威を行使する立場にもある。主イエスの御名によって祈るのは、そのためである

(2) 証印は完成のしるし：証印は、信者の救いのためになすべきことはすべて、神の側で完了してくださっているという表明

(3) 証印は保証のしるし：証印は、信者を贖いの日（からだの復活のとき）まで守るという神の約束の表明である。よって、信者は贖いの日まで絶対に守られる

9. 保証金

契約をして保証金（あるいは前金、手付金など）を受け取るなら、契約で約束されたとおりに事は成ると確信できる。これと同じように、聖霊は信者の内側に住んでくださって、神の契約の保証金となり、信者に確信と希望を与える。そして、神の約束のとおり、贖いの日、すなわち信者が復活のからだを受けるとき、救いは完成し、神の栄光がほめたたえられる。

「保証金」は、聖霊の保証の働きを象徴する。

Ⅱ コリ 1：21～22 私たちをあなたがたと一緒にキリストのうちに堅く保ち、私たちに油を注がれた方は神です。神はまた、私たちに証印を押し、**保証**として御霊を私たちの心に与えてくださいました。

- 保証・・・直訳すると「保証金」、「手付金」。

エペソ 1：14 聖霊は私たちが御国を受け継ぐことの**保証**です。このことは、私たちが贖われて神のものとされ、神の栄光がほめたたえられるためです。